

令和5年10月27日（金）

読書週間

本日、10月27日から11月9日までの2週間にわたり「読書週間」が設定されています。読書週間では、読書を推進する行事が集中して行われます。

終戦まもない1947（昭和22）年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意の下、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

『読書週間』は、少しずつ日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容してきています。しかし、情報を使っているのは私たち人間です。私たちの人間性を育てるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。毎日の学校生活に、これからの人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

『読書週間』が始まる今日10月27日は「文字・活字文化の日」です。喜入中の生徒の皆さんが、より多くの本に親しむことを期待しています。

さて、2023・第77回読書週間の標語は、「私のペースでしおりは進む」です。1冊の本を一気に読むのは時間的に難しいかも知れませんが、自分のペースで継続的に読書し、最後のページまで読破することで、自らの人生の羅針盤とする本を見つけてください。